

Title	組織変革と企業ビジョン - V字回復における企業ビジョンの有効性に対する一考察 -
Sub Title	
Author	武元, 勝(Takemoto, Masaru) 浅川, 和宏
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2003
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2003年度経営学 第1879号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002003-1879">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002003-1879</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 論文要旨

所属ゼミ	浅川 和宏 研究室	学籍番号	80228590	氏名	武元 勝
(論文題名)					
組織変革と企業ビジョン — V字回復における企業ビジョンの有効性に対する一考察 —					
(内容の要旨)					
<p>一層の競争化が進む現代社会において、その中に生きる組織には自らの存続のために絶えず組織学習やイノベーションといった何らかの自己変革が必要な時代になりつつある。組織の変革は、その状況やタイミング、変革の範囲などによってさまざまなタイプに分類することができる。しかしながら既存の組織変革についての研究では残念ながらその類型論に留まるか、もしくは類型をしないまますべてに適応可能と思わせる変革プロセスの構築が多く、実社会に適応可能な研究とは言い切れないものが多い。特に近年では、これまでの組織変革論ではあまり議論されてこなかった事例、すなわち、破綻企業の再建—ターンアラウンド—事例や、低迷した企業が突如V字回復を遂げる事例が数多くあり、それに対応した変革プロセス論の必要性も増してきていると思われる。</p> <p>本論では、既存の組織変革論をベースとし、その中で特によく言われている「ビジョン」の有効性について、具体的事例との対比において検討を深めた。とくに、V字回復を遂げた企業の変革事例をとりあげ、通説でいわれているビジョンの重要性がいかに無視されたかといった点について考察をおこなった。</p> <p>結論としては、財務基盤の弱体化などといった組織存続の危機にある状態、すなわち時間的余裕のない状態で、組織全体の革新的な変革を強いられた場合には、ビジョンを捨て去る事が組織変革の成功への第一歩であると論じている。</p>					